



「ふくい」には、 「ふくし」が隠れている。

「ふくい」という文字のなかには、「ふくし」という文字が隠れています。そして、現実の福井のなかでも福祉が隠れてしまっているように感じます。

たしかに、「福祉」という言葉にはなんとなく重いイメージがあつて、当事者じゃなければちょっと近寄りたくない存在なのだと思います。

その状況を変えたい。福祉の本当の場所を知ってほしい。私たちはそう強く願っています。

福祉を必要とする、いろんな生きづらさがあること。

それをやわらげるための、いろんな支援や施設があること。

そこで奮闘しながら働いている人がいて、いろんな仕事をしていること。つらいことがあること。うれしいこともあること。夢があること。

「福祉」という言葉は、もともと「幸福」を意味しています。

そして、ここ福井県は幸福度が日本一。

「ふくい」のなかに「ふくし」があつて、さらに幸福度日本一の県。

そうあつてもいぐらいの偶然ではないでしょうか。

障がいがある人もない人も、子どももお年寄りも、弱い人も強い人も、みんなが互いを認め合い、支え合い、しあわせに暮らしている。私たちが思い描くのはそんな社会です。

もちろん、それを実現するにはたくさん障壁があります。

時間もたくさんかかります。だからまずは、一つだけお願いがあります。

今よりほんの少しだけ福祉のことを気にかけてみてください。

それで少しずつ福祉がみなさんにとって身近なものになっていけたら。

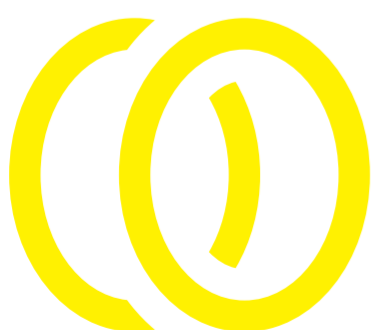
あすはもっと、生きづらさがへつっている。

あすはもっと、やさしい想いがふえている。

あすはもっと、しあわせな福井になっている。

そんな、これからの夢見えています。

あすはもっと。



あすわ

「生きる」に、伴走し続ける。

社会福祉法人足羽福祉会